# 会 議 録

| 会議の名称 | 令和 5 年度 第 1 回那珂川市地方創生推進委員会   |          |                  |
|-------|--|----------|------------------|
| 開催日時  | 令和5年7月19日(水)<br>19:00 ~ 20:15  | 開催場所     | 市役所 2F 第 1·2 会議室 |
| 出席者   | 19:00 ~ 20:15  1. 委員 包清委員 (九州大学名誉教授)、児玉委員 (西日本旅客鉄道㈱地域共生室長)、朝廣委員 (九州大学准教授)、佐伯委員 (農業の担い手)、千住委員 (市商工会副会長)、渡邊委員 (㈱西日本シティ銀行那珂川支店長)、深町委員 (公募委員)、上野委員 (西日本新聞社筑紫支局長)※欠席者 平嶋委員 (西日本鉄道㈱まちづくり・交通企画部 まちづくり担当課長) 園田委員 (㈱キャリア研究所代表取締役) 添田委員 (公募委員) 内田委員 (福岡広域森林組合福岡南支店長) 2. 執行機関 (事務局) 武末市長、小川行政経営課長、森山企画担当係長、中俣主任主事総合戦略検討会議 9 名 3. オブザーバー 岡企画主幹 (福岡県企画・地域振興部 市町村振興局 政策支援課) 4. その他 |          |                  |
| 配布資料  | ・資料 1 那珂川市地方創生推進委員会 委員名簿 ・資料 2 第 2 期那珂川市まち・ひと・しごと創生-人口ビジョン・総合 戦略効果検証シート  |          |                  |
| 公開区分  | 開示 · 一部開示 · 非開示<br>(理由:情報公開条例第   | 9 条第 1 項 | 第号に該当)           |

### 1. 市長あいさつ

本日は、多忙の中、夜間にお集まりいただき、心より感謝申し上げる。

本日は、第2期那珂川市総合戦略について、事務局から昨年度の取組状況について報告をする。 各界で活躍されている皆さんには、報告に対する意見や今後の考え方など、積極的にご意見を 頂きたい。

先日の豪雨災害について少し話をする。7月7日から11日の期間中、南畑地区において累計508mmの雨が降った。1時間当たりにすると73mm、24時間で305mm降っている。

国が示す 100 年に一度の 24 時間雨量が 328mmに近づいてきているため、那珂川市において も行政職員で常に緊張感を持ちながら過ごしていかなければと思っている。

それから、少し大きな話として、道善・恵子の土地区画整理事業が行われ、令和7年3月には 大体工事が完了し、その前後の時期から土地の販売が開始される。 最大 150 区画。それから片縄のところに JR 九州が 30 区画、別業者が 35 区画、この 3 つだけで合計 215 区画できる。

また、それとは別に五郎丸区に30戸の分譲マンションが建築中である。

那珂川市においては、幼稚園、保育所、こども園が併せて 12 施設あるが、少し余裕を持たせて 設置しているのは、このような人口の増加を考えているからである。

もう一つ、ゼロカーボンシティの宣言を令和4年2月28日に行った。那珂川市としての取組を宣言したものの1つとして、昨年度省エネ家電商品の買替補助制度を設けた。

5,251 件の申請を受け付け、1 世帯 10 万円の補助し、総額 4 億 1,115 万の補助金を交付した。 内容としては、テレビの買替、冷蔵庫の買替、エアコン、浄水器、照明器具など。

いわゆる、熱をできるだけ発しない、電力をできるだけ省エネタイプにすることによって、ゼロカーボンシティを実現していくという取り組みの一環である。

那珂川市は5万人と言う小さい自治体ではあるが、やらなければならないことを確実に市民の皆さんと共にやっていくということを報告する意味で、みなさんにも報告をさせてもらった。 今後ともよろしくお願い申し上げる。

## 2. 委員長あいさつ

皆さま、お忙しい中ありがとうございます。コロナの先が見えてきた中、災害が発生した。 このような逆風に負けず、地方創生の事業について、良い方向に進んでいくためにどうすれば いいかということを、委員会にて審議させていただければと思っている。 本日はよろしくお願いする。

### 3. 報告

### 事務局

委員の交代もあるため、事務局より順次、自己紹介をお願いする。

~ 事務局⇒委員⇒県の順番で自己紹介を行う ~

### 事務局

以降の進行については、委員長にお願いする。

~ 議長(包清委員長)より進行 ~

(1) 第2期那珂川市まち・ひと・しごと創生一人ロビジョン・総合戦略 効果検証について 議長

資料2について、事務局より説明をお願いする。

#### 事務局

資料 2 第 2 期那珂川市まち・ひと・しごと創生-人口ビジョン・総合戦略効果検証シート基本目標 1 の取組状況を説明。

### 議長

事務局の説明を受け、KPIの達成状況、取組状況について、助言や質問等をお願いする。

## 委員

新規就農者について、具体的な理由を教えていただきたい。

## 事務局

理由として、優良農地がなかったというところが要因として挙げられる。

# 委員

希望した個人や法人はいたのか。

## 事務局

希望はあった。希望する人がでたら、就農計画を見せてもらい状況の聞き取りなどをするが、 認定要件を満たさなかった。件数は、法人・個人含めて 10 件程度の要望があった。

## 議長

就農計画に合った農地が確保できなかったということか。

### 事務局

そのとおり。

# 委員

今後もそういう状況は続くだろうということで、KPIを見直したらどうか。

KPI の見直しについては、ここで話し合うのか、それとも行政が案を考えて持ってくるのか。

## 事務局

改善内容・検討内容に記載しているが、地域計画の策定を担当課の方で進めている。 この計画を立てた後に、どういった施策を打っていくのかというところを検討していく。

# 議長

地域計画の内容を踏まえ、次年度以降に見直しを検討するということで理解してよろしいか。

## 事務局

そのような理解でいい。

# 委員

棚田地域の方も結構あると思うが、どのような状況か。

## 事務局

優良農地以外のところとなると、今言われたような中山間地域がある。一つは、やはり市外からの新規就農の相談が多く、南畑地域までとなると少し距離が遠いという話が一番多い。 もう一つは、有害鳥獣による農作物被害の防除が、非常に手間がかかるというところがある。 このようなことを踏まえると、農地の紹介をするときに優良農地がないとなる。

### 委員

宮崎の高千穂では、人口は低迷しているが、専業農家は右肩上がりに増えており。

指定棚田地域を活用した農業に取り組んでいるが、移住希望者に対する空き家不足となっている地域もある。

まさに、福岡市の隣にある那珂川市であれば絶好のポジションにあるのは間違いない。 効果検証シートにおいても、そういった中山間の振興に関する、文言を念頭に設定したほうが いいのではないか。

### 議長

文言については検討いただきたい。他に質問はないか。

## 委員

山の方について、雨で被害等はなかったか。

## 事務局

現在、調査中なので完全には分かっていないが、一定数あると思われる。

## 委員

災害に強い森づくり、林業サイクルの強化をしていってほしい。

# 委員

ヤマモモについて取材したことがあって、地方版の記事で取り上げようと思っていた。

非常に種類が増えたというか、使うとさわやかで、是非那珂川市の特産にしていただきたいな と思うくらいである。

生産者の方と関わっていると、中々生産量が取れない、もう少しロットを増やさなければ、いるんな所へ使えないし、使い勝手が悪いとよく言われている。新しい方法で広げるか、植樹をしていくとかできないか。

## 事務局

場所がなかなかない状況がある。生産者の方々と一緒になって場所を探して、少しずつ植える 場所を確保していっているという状況である。

### 委員

実際に植樹も少しずつではあるが、取組をしている。今後、ある程度まとまった場所に集約したいが、収穫期間が1週間から10日ぐらいしかないので、その期間だけ人を集めることが難しいということもあり、思った以上の生産は出来ない。

以前は、最大約800kg収穫していたが、現在は300kg程度に減少している。

また、収穫作業ボランティアの公募をしたが、収穫時期の見極めが難しかった。

### 委員

やまももをつかったケーキ、大福、サブレなどを渡すととても反応がよい。

#### 議長

広報の話と人手の確保の話、生産地の確保という3つの課題をご指摘いただいた。 やまももはどのようにして購入できる。

#### 委員

やまももを使ったお菓子はプレミアム商品券で購入出来る。

#### 議長

そのあたりも周知していってほしい。他に質問はないか。

### 委員

基本構想が行き当たりばったりのように感じる。

例えば、今の農業の問題についても、今の那珂川市の農地の状況も分かってはいるが、その中でどうしても作り手が少ないのは、農地の多くが中山間地域にあることが要因。

新規就農者によると、中山間地に土地はあるが作物は作れない。大型機械も入らないし、鳥獣被害の問題や作業効率が悪いと聞く。最終的には、新規就農者が経営的に成り立たないといけない。

先程市長も言われた、区画整理事業については、ある程度先を見て、何年後にはこうしようということが形になっているが、農業については、何とかしようという心があるが、大きな構想がないので、今みたいな状態になっているのではないだろうか。

そしていろんな方に意見を聞くと、趣味的に家庭菜園をやりたいという方はたくさんいる。自分も個人的に 100 区画くらい作って、そのような形で楽しんでもらっている。

そのような形にしていると、ほとんど空きはでず、でたとしても止めた方が次の方を紹介して くれるとかがほとんどである。

やはり農業だけではなく、全体の何年後にはこのようなまちづくりをしようという方針がないとと思う。

立地としては、良い場所にあるが、残念ながら観光のことも色々いわれていたが、どっちかというとやはり中途半端になってしまっているという現状がある。やはり、一つ、那珂川市をこういう風にしていきたいという形を皆さんに分かる形で示さないと、発展していかないと思う。ぜひ、そのようなことを少しでもやっていただきたい。

## 議長

農業振興や就農基盤の改善、農地確保の文言の工夫については検討していただきたい。 他に質問はないか。

それでは、基本目標2について、事務局より説明をお願いする。

## 事務局

資料 2 第 2 期那珂川市まち・ひと・しごと創生-人口ビジョン・総合戦略効果検証シート基本目標 2 の取組状況を説明。

# 議長

3年間、コロナ禍の中でも計画通り進捗している。

事務局の説明を受け、KPIの達成状況、取組状況について、助言や質問等をお願いする。

## 委員

ダムの湖面利用体験イベントについて、現在は受付可能な日程が少なく、利用しづらい。 また、2時間の講習時間で7,500円は、一般市民が気軽にできる形にはなってない。 せっかく県が初めて、ダムの湖面利用の許可を出しているので、もっと何かいい方法で活性化 していきたいなと思うので、少し意見交換をしたい。

### 事務局

令和4年度からスタートしたのでまだ実績も少ない。まずは、安全に利用していくことが重要である。そのためには、安全確保のためのインストラクターを付ける必要があるが、そうすると、人件費がかかってくるため、参加費用は、現在の金額になってしまう。

一方で、時間を短縮することで参加費が安価な体験イベントも何回か実施している。そのように試行錯誤しながら、ニーズに合ったものをやっていきたいが、アクティビティーを安価でやるのは難しくなってきている。

なお、改善策に記載している、水源地域振興基本構想の次期構想を現在作成しており、初心者 でも比較的参加しやすいようなアクティビティーについても検討を進めていきたいと思ってい る。

## 議長

初心者向けはなかなか難しい。自然との付き合いの中で、安全の確保というのは行政の最優先 事項である。また、人件費や体験の仕組みを考えると、料金的にも厳しいという現状があるの だろう。全国に様々な料金体系の自然体験メニューがあるので、そのあたりの情報収集を継続 し、事業者と相談しながら、初心者が参加しやすく、安全な事業をしていただきたい。

# 委員

例えば、職員の中で自然体験やキャンプをするようなサークルはあるのか。

# 事務局

若いころやっていたという職員は何名かいるがサークルはない。

# 委員

何が言いたいかというと、まずは自分たちが楽しいとか、初心者になってやってみて、こういったことがいいのではないかというのを発信していくのが、意外と大切だと思う。

まずは、自分たちで面白さを発見して、発信していく方が実は早いかもしれない。

# 議長

職員が体験する機会を検討していただければと思う。

# 委員

休日の滞在人口の増加については、五ケ山地域に限定して考えているのか。

五ケ山は山の上なので、冬場は厳しいのではないかと思うが、季節的なハードルはあるか。 また、もし冬が厳しいということであれば、冬場の対応について何か検討されているのか。

## 事務局

休日の滞在人口については、五ケ山に限らず、休日の 14 時を基準としてカウントしている。 那珂川の中では、温泉施設、ゴルフ場、五ケ山キャンプ場、中ノ島公園といったところの 滞在が多い。

言われたように、五ケ山クロスについては冬の来客はやはり下がってくる。とはいえ、キャンプ場については、通年で利用してもらっているので全く来ないというわけではない。 キャンプ場を拠点とした周遊の取組として、吉野ヶ里と連携したイベントを実施し、休日の滞在人口が増えるような取組をしている。

### 委員

成竹のグランピング施設は個人でやっているものか。

#### 事務局

民間がやっている施設。サウナが人気でメディアにも取り上げられてはいたようだ。また、 食事付きで宿泊も可能。

## 議長

その施設も休日人口のカウントに含まれているのか。

### 事務局

含まれている。

### 委員

施策 2-3 について、令和 4 年度の実績は、前年度イベントの効果であるか、またイベントに参加した年代について教えていただきたい。

### 事務局

1つ目の質問については、前年度のイベントの効果であると考えている。

また、令和 4 年度以前から家を探されていて、最終的に令和 4 年度に移住をしたといったケースもある。

2つ目の質問については、令和4年度は20台が1世帯、30代が4世帯、40代が2世帯。基本的には子育て世帯の方たちを対象にしているため、若い世代が転入するケースが多い。

## 委員

50代以上は参加できないのか。

## 事務局

50 代以上は参加できないことはないが、実際に移住するケースとしては南畑小学校周辺が子育て世帯に人気の場所となっている。

もっと佐賀県よりの場所は、50代・60代が転入するケースが多い。

# 委員

今後の改善策に記載している空き家改修のスキーム検討内容についてはどうか。

### 事務局

こちらについては、まだ具体的なスキームが検討できていないため、引き続き検討してい きたいと考えている。

# 委員

頑張っている自治体では、研修会を実施したり、NPOに声かけして空き家の片付け、改修までして、集落で空き家を作り出したりしているところもあるので情報のリサーチをしてほしい。

# 委員

空き家はあるのか。いわゆる誰かが運営しているとか、所有者が手放さなくて空き家じゃない 状況なのか、どっちなのか。

## 事務局

どちらのケースもある。

例えば、空き家の持ち主がわかっている所は、この事業が認知されていることもあって、区長 などから情報が集まってきやすい。

例えば、普段、人は住んでいないが仏壇があるため手放したくない、長期休暇や夏休み、年末 年始だけその家に親戚が集まるなど色々なケースがある。

### 委員

今後の改善策のところに紹介物件が少ないということで書いてあるが、南畑地区だけを見ると そうだろうと思うが、那珂川市全体だと、結構空き家になっているところがある。

希望者がいても、物件が少ないとなるとこれ以上増えないとは思うので、そのあたりを少し前 向きに考えていただきたい。

# 委員

固定資産の登録に関する法改正で、相続税の取扱が変わるので、もしかしたら少しずつ手放されるとか、どうしたらいいかという相談が出てくるのではないかと思う。

実際、古民家をリノベーションして購入して貸し出しているところもあり、新婚者に人気がある。

## 議長

法改正のことを教えれば新規にどんどんでてくるかもしれない。今後、地域全体での情報取集 と発信の仕組みを検討してもらいたいと思う。

それでは、基本目標3について、事務局より説明をお願いする。

## 事務局

資料 2 第 2 期那珂川市まち・ひと・しごと創生-人口ビジョン・総合戦略効果検証シート基本目標 3 の取組状況を説明。

## 議長

基本目標3に関する今年度の子育てしやすい市かどうかの数字の変化については、アンケートの取り方が大きく変わったということだった。

施設等への設置型のアンケートとしたため、回答数が低い数字になったと考えられる。

# 委員

回答数が減ったということであれば実数は。

## 事務局

全体の回答数は39件。子育てしやすい市だと思うに「はい」と答えた件数は25件。

選択肢は、「子育てしやすい」「どちらかというと子育てしやすい」「どちらかというと子育てしにくい」「子育てしにくい」の4項目あり、上位2つを分子に入れている。

## 議長

アンケートの取り方については回答数が増えるように検討をしてほしい。

# 委員

人手不足が深刻化し、昼夜の人口も変化している。子育て世帯の女性が働きやすい環境づくり と市内での就職支援を基本に絡めた施策が必要だと思う。

## 議長

それでは基本目標4について事務局より説明をお願いする。

### 事務局

資料 2 第 2 期那珂川市まち・ひと・しごと創生-人口ビジョン・総合戦略効果検証シート基本目標 4 の取組状況を説明。

### 議長

基本目標 4 について 2 つの施策について説明頂いた。事務局の説明を受け、KPI の達成状況、取組状況について、助言や質問等をお願いする。

### 委員

今、非常に地価・物価が高く、中々市内の物件情報の供給が少ない。

しかし、大橋などからのアクセスもあるので、まだまだこれからいろいろな施策を出して人口 増につなげて行けるのではないかと思う。今後の那珂川市の都市計画に期待している。

### 事務局

道善・恵子土地区画整理事業については、現在、西鉄バス営業所の付近の土地区画整理事業を 進めている。

総合戦略にも挙げているが、他の地区でも新市街地を検討しており、ミリカローデン那珂川周辺の東側の農地部分について区画整理を出来ないかと、今、地権者さんたちと検討を進めているところである。

地価上昇の話については、宅建協会さんと定期的に勉強会を行っており、できるだけ最新の情報を収集するよう努めている。

# 議長

景観ガイドラインになどについても検討いただければと思う。

## 事務局

新市街地については、現在は人が住んでいない状況なので規制や制限をかけることが比較的やりやすいが、新市街地以外の部分の景観形成については、地権者さんの権利を制限する形になってくるので、どう踏み込んでいくか難しい。

地元の団体などの組織形成の部分から関わっていく必要があるのかなと考えている。

## 議長

組織形成などいろいろ検討いただければと思う。他には意見はないか。

## 委員

基本目標4の協働研修の枠組みについては、ボランティア、社協だけでなく、もっといろいろな団体を含めてはどうか。さまざな目標を実現していくためには、那珂川市の規模だからこそ、ボランティアセンターや社協だけではなく、農協や建設業協会などといった様々な組織と連携を密にまちづくりに関わってもらった方がいい。

災害に備えた生活のあり方など、平時から連携をしておくことで、市の課題解決ができるのではないか。景観形成などについても、そういった組織とコミュニケーションをとっていく必要があるかと思う。

## 議長

社会系団体、事業系団体、農業系団体など行政との連携の仕方はなかなかひとくくりには出来ないところがあると思う。

団体間連携の中に、例えばまちづくり緑化や景観など、全体の不動産価値を高めていこうという視点をいれ、継続して取り組んでいただきたい。

### 委員

那珂川市で観光開発に力を入れているのは五ケ山か。

#### 事務局

今は水源地域進行基本構想の中で水源地域の振興に力を入れている。

具体的には清流から五ケ山までの水源の豊かなエリアである。

### 議長

今後新市街地ができた際に新しい公園が出来た場合には、そう言った場所を活用した交流の場 についても検討していただきたい。

## 委員

史跡もたくさんあるのでそこも含めていただきたい。

### 委員

施策 2-1 に戻るが、周遊モデルルートはどんなものか。

### 事務局

観光ルートは、五ケ山周辺だけでなく、市内も含めたルート整備をしている。

市街地は、駅ビルが玄関口となるが、そこから文化資産などへ観光客をうながすためのインフラ整備まで行うことは難しいところがある。

まずは、五ケ山地域に新しい施設ができたこともあるため、水源地域の魅力を伝え、市内の飲食店や文化遺産にも足を延ばしていただけるように力を入れていかなければと思っている。

# 議長

以上で報告は全て終了した。進行を事務局へ返したいと思う。

# 事務局

第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略については、来年度までとなっている。 今後の計画の策定については、現在検討している段階ではあるが、作成するとなった場合 には、また協力をお願いすることになるかと思う。

その際には、ご協力をお願いしたい。

終了